

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			16日	21日	25日	15日	20日	17日	8日	19日	16日	16日
開催時間 曜日	19時00分～21時00分 第3金曜日開催 8月のみ第4金曜日、12月のみ第2金曜日開催											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）第5会議室 経験年数4年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX でお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

助川 征雄先生より

この GSV では、参加者の自由な発言や体験交流を大切にしたいと思えます。特に大切にしたいことは、クライアントと「関わりを大事にしたかどうか」ということです。それらの検討を通じ、クライアントの様々な困難と同時に担当者を取りまく課題などを再認識し、解決のためのあらたな発想（着眼点）などを見つけ、共有することを目指したいと思えます。

また、医療機関という高度な技術やサービスが期待される職場ならではのご苦労があると思えます。多職種とともに働く喜びと同時に、そのような場において、ソーシャルワーカーは何をなすべきかという、「役割をはたすための様々な工夫や苦心」が多々あると思えます。それらを忌憚なく自由に吐露できる場にぜひできたら良いなと願います。

ソーシャルワーカーは、その働きの中心に「生活支援」を掲げてきました。しかし、少子高齢化や社会格差など、生活環境の複雑化が加速しています。それらの中で、医療保健福祉ニーズがますます多様化し、現場では、さらなる負担を余儀なくされてい

（参考文献）

助川征雄；ふたりぼっち（精神科ソーシャルワーカーからの手紙 ～新書）・万葉舎 2015
 助川征雄；（福祉の現場で役に立つ）スーパービジョンの本：河出書房・2012
 柏木昭、佐々木敏明；ソーシャルワーク協働の思想：へるす出版・2010

ます。しかし、これからは「リカバリーの時代」です。それは、クライアント共に創る「共創型の社会」を一層めざすということです。専門家は、クライアントの経験知に学び、彼らの自力を大切にし、自己決定のチャンスを広げる援助視点や、シャープアップされた専門スキルをもって「その解決や緩和に貢献する」ということです。

GSV は参加型の自己啓発の場でもあります。私も、これまでの経験をもとに、率直かつ柔軟にこの場に臨み、「共創」の考えをはじめとし、未来への夢や希望を語り合い共有したいと思えます。

なお、この GSV の参加者は9名程度とし、毎回順番に1事例を提出していただき、次回の事例提出者に司会進行をお願いしたいと思えます。

時間配分は、事例報告に40分程度、その後、約1時間余自由討議をお願いしたいと思えます。事例発表にあたっては、原則として、クライアントの了解を得て、資料表記は匿名でお願いします。

また、下記参考文献をご覧になり、GSVへご参加くださるようお願いいたします。